

# 「一年を総括」 新年度から 阿佐線への取り組みに意欲

十二月定例市議会の一般質問が十二月十日・十一日の二日間行われました。  
行政を担当して一年を経た浜田市長は、「先例踏襲主義の打破」や「法令の順守」などの徹底。さらに、市民にやさしい市政を推進してきました。今議会では、これらの成果などについて、山本・福田・竹内・澤田・小沢・吉村・山崎の各議員が質問に立ちました。  
主な内容は、次のとおりです。

## 職員意識改革と 業務に成果

### ■ 市政を担当して一年 市長の感想を

就任以来、市政の信頼回復、継続事業の推進、市民の声の反映などに全力で取り組んできました。

職員には、公務員の原点にかえって、法令順守や胸章の着用、市民にやさしく接することなど細かく指示したことにより、成果がありました。情報公開への対応などは、ほぼ順調ですが、各種審議会への女性の参加や公募制の実施、先例踏襲主義の打破などについては、今後の継続課題

### として取り組みます。

若者の流出、少子化・高齢化社会への対応、都市計画の推進などについて、長期・短期の具体的対応策を明確にして、市民に理解していただくことなども今後の課題と考えています。

### ■ 新年度への取り組みは

国・県の情報を収集し、市の政策へ生かすとともに、これらへも積極的に働きかけをしていきます。

また、阿佐線への取り組みが遅れ、他の市町村から積極

的な取り組みの要請がありました。このため新年度から職員を配置し積極的に取り組めます。

さらに、有型市総合計画基本構想に基づき、明るく潤いのある交通拠点都市を目指し、努力していきます。子どもやお年寄りにはやさしく、若者には魅力があり、実力が発揮できる都市づくりを目指し、基本計画の十大目標達成を全力で推進するため、財源対策・人材育成に力を注ぎたいと考えています。



整備の進む物流団地

### ■ プロジェクト事業の 進捗よく状況はどうか

では、地方分権時代への対応指定を得ている健康文化都市、二十一世紀活力圏創造事業などの条件を生かし、農業の振興・団体への取り組み、最終処分場の建設・学校などの公共施設の建設に取り組めます。市民の健康増進と文化向上を図るとともに、納税者（市民）の目に見える市政・財政基盤の強化を図りながら、すべての経費が税金で賄われているという観点に立ち、事業効果を上げていきます。

浜改日物流団地は、六区画のうち六区画に企業立地が内

## 時代を越えて 変わらないものを大切に

技術の進展・経済構造の変化・高齢化・少子化など、社会の多様な変化の過程の中にあつて、新しいあり方が問われています。

子どもに生きる「ちから」と「ゆとり」をはぐくむことを目指していきます。学校教育は、生涯学習の基盤づくりの場として、家庭・地域との連携を一層密にしながら進める必要があり、その推進にあたり市民のご協力をお願いいたします。

ただちに取り組めるものは、予算の配分方針などで工夫していきます。統廃合・民間委託などに反対の市民には、理解をしてもらうよう努力していきます。保育内容については、さらなる充実を目指していきます。今回の改革は、内容の低下をさせようとするものではなく、サービスを上向きさせるものと考えています。

ができ、補償工事の地元説明に入っています。地権者協議会と約束した営農対策や環境対策事業は、県と協議しながら実施しています。地権者の理解を得て、できるだけ早く用地を取得し、周辺地域からの要望を具体化することが課題となっています。

一般廃棄物の最終処分場は、広域行政での対応を進めてきましたが、他市町村にもそれぞれ事情があり、不調に終わりました。現在、市としては、八京地区への設置を申し入れていますが、これも困難な状況にあります。

### ■ 教育行政について

音楽教育研究大会の開催など、教育現場の活性化が進んでいます。念願だった市内校での吹奏楽団が、二校合同で発足しました。

明治五年の学制施行から百二十四年がたち、わが国の教育は、新たな世紀の大きな変革の時期を迎えています。また、国際化・情報化・科学

中で、本年度の文部大臣表彰を本市の教職員が受けたことは、市内小・中学校の教職員にとつて、励みになっています。これを糧にしながら、受験過熱・いじめ・登校拒否などの問題解決に向けて努力してまいります。

豊かな人間性など時代を越えて変わらない価値あるものを大切にすることも、社会変化に的確に、そして迅速に対応する教育が必要です。



全国大会出場選手団の合同激励会

### ■ 保育所の一部統廃合、 民間委託への取り組みは

保育所問題検討委員会の方針に沿って、全力で改革に取り組みます。職員の配置・時差出勤・職員会のあり方など、

### ■ 農業政策について

全国的な世代交代・若者の農業離れは、本市の実情も同様であり、後継者の育成と基盤整備を進め、農業の底上げをしたいと考えています。

### ■ 文化行政、 姉妹都市事業について

「質の時代まつり」は、地域の人々の連帯感と活性化を進め、さらに市内の伝統や文化を掘り起こし、最終的には観光客の誘致へと発展させるよう、市を代表する文化的イベントとして位置付けをし、商店街の活性化につなげたいと考えています。

また、岩沼市（姉妹都市）の「花トピア事業」へは、積極的に参加する方向で進めます。